

第5学年1組 英語科学習指導案（11/24版）

指導者 小池 美樹
ALT ザネル プレトリウス
専科 廣瀬 芳樹
JTE 浅野 真由美

1 単元名

He can run fast. She can do *kendama*. 友達の意外な一面を紹介しよう

(Here We Go! 5 Unit 5)

2 教材について

(1) 教材観

本単元では、「Can you～?」の表現を用いて、相手のできることを尋ねたり、できることやできないことについて can を用いて行った会話を基に、その相手について「He/She can～.」という表現で紹介したりすることを目標としている。児童は、これまでに学習してきたスポーツなどの表現に加え、新たに楽器や一輪車など身の周りのものや、速い・高いといった状況を伝える表現を学ぶ。それらを活かしながら、自分や友達ができることやできないことを伝え合う技能を高めていく。単元のゴールは、「クラスの友達が驚くような、友達の意外な一面を紹介しよう」と設定した。5年生でクラス替えをして、半年が過ぎた。普段一緒に過ごしている友達について、様々な活動を通して少しずつ知る機会があったが、クラス全員の得意なことや苦手なことを知るには至っていない。また、12月には児童会の役員選挙に向けた取り組みが始まり、自分の強みをアピールしたり、友達の良さを推薦したりする機会が待っている。残り1年半の小学校生活に向けて、この学習を通して、さらに深くお互いのことを知ることを目標に据えた。相手のことを考えて質問したり、クラスに向けて発表をしたりすることで、あらためて、クラスの友達の意外な一面に改めて気づく機会にしたい。また、どの友達にもできないことがあることを知り、互いを認め合い、支え合おうという雰囲気を高めていきたい。学級が2クラスあるため、子どもがキャスターになり切り、全員の発表を「5年〇組人物図巻」としてまとめて録画し、お互いのクラスで合うことで学年の友達の新たな一面も知る機会としたい。

(2) 児童観

本学級の児童は1・2年生で年間15時間ずつ、3・4年で年間35時間ずつ英語科として学習を行い、英語に慣れ親しんできた。2学期に行ったアンケートによると、「英語の学習がすごく楽しい・楽しい」と考えている児童が87%で英語の学習に興味を持っているという結果が見られた。また、英語の授業を楽しいと考え理由（複数回答）は、77%の児童が「友だちと一緒にできる場所」を、64%の児童が「英語を聞いて言葉がわかったとき」を挙げており、友だちとのコミュニケーションの中に英語の楽しさを見出していることや、教材や教師、友だちとの会話の中で、その英語が意味することがわかることに楽しさを感じていることがわかる。この結果を受けて、この単元では、児童にとって身近な存在であるクラスの友達に焦点を当て、単元のゴールを設定した。

その一方、会話の中で積極的にリアクションを行うことには課題がある。本単元を通し、聞き手が積極的にリアクションを使い会話を続けることで、話し手が「相手に英語が伝わった」「認めてもらった」と感じて、英語で話したり、表現したりすることの喜びを実感できることを目指す。

これまでの発表の場面では、失敗を恐れてか、教師の行うデモンストレーションの型どおりの発表が多く、英語を使って自分なりの自己表現をしている場面は少なかった。この単元では、can だけにとらわれず、既習の表現を使って表現したり、文章構成を工夫したりすることで、それぞれ違った形の友だちの発表を聞き、それぞれの良さを認めあえる場としたい。

(3) 指導観

英語教育改善プラン推進事業では、パフォーマンス評価が重点に置かれている。あらゆる単元で、コミュニケーションを行う目的・場面・状況を考えることが重要と考えこれまでの取り組みが少ないこの単元を選択した。

単元のゴールは、「クラスの友達が驚くような、友達の意外な一面を発表しよう」と設定した。これまで半年過ごしてきた友達の意外な一面を引き出すには、相手の考えを予想して様々な質問を行い、自分の予想とは違う相手の反応を引き出す必然性がある。

そのために、第3時では、既習事項を振り返り、どのような質問が自分たちでできるかを全体で考える。その後の第4時で実際に友だちにインタビューをするという言語活動を行う。

1回目の質問の後にフィードバックの時間を取り、友達の良い質問を全体で交流したり、英語でどう表現するかをALTに質問したりする。これによって、2回目は同じ質問ではなく、質問の幅を広げるようにする。また、児童が相手の答えに応じて思考・判断しながら会話が続けられるようにリアクションを意識させたり、既習の表現で自分の考えや気持ちを伝えられるよう確認したりすることで、自然な会話を目指す。

第6時のスピーチを作る際には、児童とルーブリックを確認し、単元のゴールにある「クラスの友達が驚くような」という部分を意識させ、どう文章構成をすると効果的かを意識させスピーチを考えさせる。

本時の第7時、第8時では、前時に確認したルーブリックを再度確認し、評価をしていく。紹介する友達を立たせ、その友達を紹介するよう発表をすることで、She、Heの意味を再確認する。「5年〇組人物図巻」のキャスターとして発表することで、相手により伝わる発表の仕方を意識させる。

次に、児童が自ら自分の学習を振り返ることができるよう、評価の場面で一人一台端末を利用し、Formsを使い、3つの観点（だいたい正しい英語で話せていたか、友達の意外な一面が伝わったか、キャスターのように話せていたか）で評価を行う。発表を考える際、個人で考えた後、個人差を補うため学習班で協力しながら発表を練り上げる。第7時・8時と2グループに分かれて発表する際に、班全員の発表が終わった時点で班全体の発表を評価することで、個人の能力ではなく、班で協力して高めあった結果がFormsで即時に評価されることで、次時の発表の改善につなげ、達成感を高めたい。

最後に、毎時間、継続的に振り返りシートを使用する。児童は振り返りシートを通じて「知識・技能」について、自己評価を行い、教師は毎時間のフィードバックに利用する。他者の良い部分に目を向け、次時への自分の課題を見つける効果が期待できる。また、指導者からのコメントを受け取ったり、友達の肯定的なコメントを紹介したりすることで、意欲や自己評価の質の向上を図りたい。

3 CANDO リストによる学習到達目標 第5学年

聞くこと	話すこと【発表】
ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや良く知っている人、学校や家庭での出来事等について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	友達のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

4 単元の目標

友達のことをもっとよく知るために、できることやできないことについて聞き取ったり、聞いたことをもとに、分かりやすく紹介したりすることができる。

5 言語材料

○表現

Can you～? Yes, I can. No, I can't. He (She) can/can't～. I can～. I can't～.

【既習】 What～do you like? Do you like～? Me, too. That's great. Cool. Nice.

Really?

○語彙

I, you, he, she, 活動 (draw, play, ride, run, sing, swim) スポーツ、身の回りのもの (guitar, piano, bicycle, picture, unicycle) 食べ物、動物、職業 (teacher, ～player) can, fast, well, high,

【既習】 like, eat, food,

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>[知識] 簡単な語句や Can you～?(Yes, I can. /No, I can't.), He(she)can... などの表現を理解している。</p> <p>[技能] クラスの友達について、できることやできないことなど具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p>
話すこと(発表)	<p>[知識] 簡単な語句や Can you～?(Yes, I can. /No, I can't.), He(she)can... などの表現を理解している。</p> <p>[技能] クラスの友達について、簡単な語句や He(she) can..., Can you～?などの表現を用いながら友達ができること、できないことを含めて紹介する技能を身に付けている。</p>	<p>友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表している。</p>	<p>友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表しようとしている。</p>

7 単元の指導計画と評価計画（全8時間）

時	目標（◆）主な活動（○） アクティビティ（・） 誌面化されている活動（【 】）	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	<p>◆できることやできないことの言い方を知る。</p> <p>○Small Talk「写真の先生が得意なこと」</p> <p>○【Story】P60</p> <p>○chant（We can! I can run. I can swim.）</p> <p>○ミッシングゲーム</p> <p>○ジェスチャーゲーム</p> <p>○ふりかえり</p>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
2	<p>◆できるかどうか尋ね合う言い方を知る。</p> <p>○Small Talk「どんなスポーツが好き？できる？」</p> <p>○【Let's chant】</p> <p>○【Let's watch】</p> <p>○【Let's listen】</p> <p>・誌面にあることができるかどうかを音声教材を聞いて答え、教師とやり取りしながら答えを確かめる。</p> <p>○【Let's play】先生ができることを当ててみよう</p> <p>・教師が児童を指名し、教師に聞きたいことを質問させ、他の児童は予想する。再度全員で質問をし、答えが予想と合っていた児童から、次の質問をさせる。</p> <p>○ふりかえり</p>	聞			<p>◎知簡単な語句や Can you～?(Yes, I can. /No, I can't.), などの表現を理解している。 （行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検）</p>
3	<p>◆意外な一面を引き出す質問を考え、相手に尋ねよう。</p> <p>○Small Talk「意外な一面を聞き出そう」</p> <p>○【Let's chant】</p> <p>○【Let's play】友達ができることを当ててみよう。</p> <p>・前回の活動で、友達が回答者になる。意外な答えを見つけるには、どんな質問がいいか考えたり、ALTにヒントをもらったりしながら質問をする。</p> <p>○Let's try 友達ができることを聞いてみよう</p> <p>○【Let's write】</p> <p>○ふりかえり</p>	話聞			<p>◎知簡単な語句や Can you～?(Yes, I can. /No, I can't.), などの表現を理解している。 （行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検）</p> <p>◎技クラスの友達について、できることやできないことなどについて伝え合うために必要な技能を身に付けている。 （行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検）</p>

4	<p>◆意外な一面を引き出す質問をさらに考え、相手に尋ねよう。</p> <p>○【Let's chant】</p> <p>○Let's try 友達の意外な一面を聞き出そう</p> <p>○【Sound and letter】</p> <p>○ふりかえり</p>	話	聞	<p>◎<u>技</u>クラスの友達について、できることやできないことなどについて伝え合うために必要な技能を身に付けている。</p> <p>(行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検)</p> <p>◎友だちの意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことについて具体的な情報を聞き取っている。</p> <p>(行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検)</p>
5	<p>◆友達ができること、できないことを伝える言い方を知ろう。</p> <p>○【Let's chant】</p> <p>○ Small Talk わたしは誰でしょう</p> <p>○【Let's watch】</p> <p>○【Let's listen】</p> <p>○友達に紹介する文を考えよう</p> <p>○ふりかえり</p>	話		<p>◎He(She)can....などの表現について理解している。</p> <p>(行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検)</p>
6	<p>◆班で協力して、意外な一面が伝わる発表を考えよう。</p> <p>○Small Talk キャスターが紹介します</p> <p>○Let's try 友達を紹介する文をグループで考えよう</p> <p>○Let's play 友達に伝えてみよう</p> <p>○ふりかえり</p>	話	話	<p>◎<u>技</u>クラスの友達について、簡単な語句や He(she) can..., などの表現を用いながら友達ができること、できないことを含めて紹介する技能を身に付けている。(行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検)</p> <p>◎友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表している。(行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検)</p>

7 本 時	<p>◆キャスターとして友達の意外な一面を分かりやすく紹介しよう</p> <p>○【Let's chant】</p> <p>○Let's try 友だちを紹介する文を発表しよう【パフォーマンステスト】</p> <p>・班の2・3人発表を聞き終わったら、PCで評価をする。</p> <p>○フィードバック</p> <p>○ふりかえり</p>		話	話	<p>◎友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表している。（行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検）</p> <p>◎友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表しようとしている。（行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検）</p>
8	<p>◆前回は活かしてキャスターとして友達の意外な一面を分かりやすく紹介しよう</p> <p>○Let's try 友だちを紹介する文を発表しよう【パフォーマンステスト】</p> <p>・班の2・3人発表を聞き終わったら、PCで評価をする。</p> <p>○フィードバック</p> <p>○ふりかえり</p>		話	話	<p>◎友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表している。（行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検）</p> <p>◎友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表しようとしている。（行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検）</p>

6 本時の学習

(1) 日時 令和3年11月24日(水)2時間目(9:35~10:20)

(2) 場所 イングリッシュルーム

(3) 目標

キャスターとして、友達の意外な一面をこれまでの学習をいかして分かりやすく発表することができる。

(4) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準
2	1 Greeting ・調子, 天気, 時間, 曜日の問いについて答える。 (Small Talk) 任意の児童がその場で考えた質問をする。 Can you~?	・担任, ALT, 専科, JTE 全体にあいさつをする。 A: Hello, everyone. How are you? How is the weather? What time is it? What day is it today? What is the date today? ・既習事項を活かして参観者に質問させる。 その内容を受け、今日の発表の確認をする。 She can~,	・本時の活動カード
3	2 Let's chant	担: 飛沫に気をつけさせながら、口ずさむよう声かける。	・電子黒板
5	3 Today's goal 本時のめあてをつかむ。	担: 今日のめあてを提示し、児童と確認する。 キャスターとして、友達の意外な一面を分かりやすく紹介しよう。	・Today's goal カード
30	3 Let's try ・発表内容の確認をする。 ・横に立つ友達の紹介をする。 ・1つの班(2人)が終わったら、PCで評価をする。	担任: 相手にわかりやすくするためには、どういうポイントに気を付けたらよいか考えさせる。 ループリックの確認を児童と行う。 ☆だいたい正しい英語で話せていたか ☆友達の意外な一面が伝わったか ☆キャスターのように話せていたか	◎友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく

	<p>☆だいたい正しい英語で話せていたか</p> <p>☆友達の意外な一面が伝わったか</p> <p>☆キャスターのように話せていたか (clear voice, smile, eye contact, speed)</p>	<div data-bbox="722 197 1195 580" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される児童の発表 A</p> <p>Hello. He is ○○(name) !</p> <p>He can play soccer.</p> <p>He can't run fast.</p> <p>He can touch insects.</p> <p>He likes かぶとむし.</p> <p>He can ski.</p> <p>He can play volleyball.</p> <p>He is cool.</p> </div> <div data-bbox="730 636 1203 916" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される児童の発表 B</p> <p>Hello.</p> <p>She is ○○(name).</p> <p>She can play volleyball.</p> <p>She can sing well.</p> <p>She can sing “かいぶつ” well.</p> </div> <p>担：2組とも交流できるよう、発表を撮影する。</p> <p>班ごとにPCのアンケート機能を使い、評価をさせ、結果を送信させる。</p>	<p>発表している。(行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検)</p> <p>◎友だちの意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表しようとしている。(行動観察・テキスト記述分析・振り返りカード記述点検)</p>
3	<p>フィードバック</p> <p>・気づいたこと、次に改善できる部分を班や全体で交流する。</p>	<p>・PCで評価結果を見ながら振り返る。</p> <p>・児童から出ない場合は、担任、ALT、専科、JTE が伝える。</p>	
2	<p>振り返りをする。</p> <p>・本時の振り返りを行う。</p>	<p>担：本時のめあてを再度確認する。</p> <p>できたこと、わかったこと、気づいたこと、難しかったことなど感想を記入させる。</p>	<p>・振り返りシート</p>

(5) 評価

○評価基準

- ・友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表している。(思考・判断・表現)
- ・友達の意外な一面を伝えるために、友達のできることやできないことなどについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に分かりやすく発表しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

○評価の具体

本单元におけるパフォーマンス評価のルーブック（児童用）

	A	B	C
知識・技能	学習した内容や既習事項を使って正しい英語で話している	学習した内容を使ってほしい正しい英語で話している	bを満たしていない
思考・判断・表現	キャスターとしてクラスの友達について、意外な一面が相手に伝わるように発表の順番を工夫したり情報を付け加えたりしながら発表している。	キャスターとしてクラスの友達について、意外な一面が相手に伝わるように発表している。	bを満たしていない
（主体的に学習に取り組む態度）	キャスターとしてクラスの友達について、相手に伝わるように発表の順番を工夫したり情報を付け加えたりしながら発表しようとしている。	キャスターとしてクラスの友達について、相手に伝わるように発表しようとしている。	bを満たしていない

本单元におけるパフォーマンス評価のルーブック（教師用）

	A	B	C
知識・技能	簡単な語句や既習事項【He(she) can...】を用いて、正しい英語で話している	簡単な語句や既習事項【He(she) can...】を用いて、おおむね正しい英語で話している	bを満たしていない
思考・判断・表現	クラスの友達について、もっとよく知るために意外な一面を聞き出して、できること、できないことを含めて相手に伝わるように発表の順番を工夫したり情報を付加したりしながら発表をしている。	クラスの友達について、できること、できないことを含めて発表をしている	bを満たしていない
（主体的に学習に取り組む態度）	クラスの友達について、できること、できないことを含めて相手に伝わるように発表の順番を工夫したり情報を付加したり、知らない表現をしながら発表しようとしている。	クラスの友達について、できること、できないことを含めて発表しようとしている	bを満たしていない